



いわき

意和氣の力と心でチャレンジ!

Chance Change Charge Challenge

由利本荘市立岩城中学校

No. 42

平成29年11月30日

保護者アンケート【記述編Ⅱ】

【A:そう思う B:どちらかというとそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない E:分からない】
※評点はA=4~E=0、として算出した数値です。2.5程度で普通、3.0以上であれば大いに評価できる数値だと捉えています。

7 教師の多くは、子供の能力や努力を適切・公平に評価しており、通知表は子供の学力や達成度を適切に評価できるよう工夫されている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
7	31.0	56.3	7.9	1.6	3.2	3.1 (3.1)

・出来るか出来ないかでなく目標に向かい努力しているか、努力の結果がどうなのかをみてくれている。

※ご理解ありがとうございます。さらによい方向へと改善していけるよう努力していきます。

8 子供の様子から、学校の雰囲気が良く、子どもたちは生き生きと学校生活を送っていると感じる

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
8	42.1	45.2	8.7	1.6	2.4	3.2 (3.2)

・先輩たちを見てもそう感じる。
・子ども同士の雰囲気は良いと思います。
・学校での出来事の話をするようになりました(小学校の時は無言でした)。
・岩城中での子ども達の様子から生き生きとした学校生活を送っていることが伝わってきました。

※生徒一人一人の心の内面に寄り添いながら生徒指導に努力しております。心の問題においては完璧な対応は出来ないと思いますが、可能な限り多方面・多角的に対応したいと思っています。思春期で心が大きく揺れ動く時期でもあります。家庭・地域のご理解とご協力も必要です。よろしく願います。

9 子供の様子から、子供は学校へ行くのを楽しみにしているようである

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
9	38.1	45.2	12.7	2.4	1.6	3.2 (3.2)

・夏休み前後は「行きたくない」と言っておりましたが、慣れてきた様子です。
・1日も休みたくないと言うほど楽しみにしています。
・長期休みになると、学校で友達とお話したりしたい、早く学校に行きたいと言っております。
・毎日、毎朝の様子から嫌がらずいっているので楽しく生き生きと学校生活を送っていると思います。
・登校すると楽しいようですが、残念ながら朝の状態は”楽しみ”が見られません。
・友達に恵まれています。

・毎朝、時計を見ながら準備し、時間を決めての行動に感心しています。

※一人一人の個性に応じて対応していくのは難しいのですが、可能な限り努力していきたいと思っております。

10 教師の多くは、子供のことをよく理解してくれている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
10	22.4	54.3	16.4	1.7	5.2	2.9 (2.9)

・本人は担任以外の先生は話しぶりみたいでです。

・やりとり帳は、子ども一人一人とのコミュニケーションとしてとてもいいと思います。

・平等ではない。

・担任の先生、学年主任の先生は理解してくださっている。

※大体はご理解いただいているようです。先にも述べた通り、人にはそれぞれ個性があるように、私達学校職員にも個性があります。中学校でも学級担任がいますが、一日のほとんどを学級担任が把握している小学校と違って、一時間一時間担当がかわることがほとんどです。私が担任をしていた頃、曜日によっては朝の会と帰りの会しか自分のクラスに行かない日もありました。それでも学級担任です。学年主任を軸とした学年部の連携、受け持っている各教科や領域及び部活動等の担当との連携また、主な担当はしていないけれどよくみてくれている人達との連携を密にして取り組んでいるつもりです。よろしくご理解の程をお願いいたします。

11 親として、子供の心身の健康について、相談できる教師がいる

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
11	30.2	43.7	17.5	3.2	5.6	2.9 (2.9)

・学年に女の先生がいないので、少し相談しにくい感じがします。

※学年・学級の実態等々…色々な諸事情を鑑みて学年及び学級の先生を決めます。男女については多少考慮しますが、今の時代、男の先生だからとか女の先生だからということあまり意識しないようにしております。教職員異動発表からすぐに学年担当を決めなければならないのでとても苦悩の時です。来年度は、そうならないように最善の配慮はいたします。生徒の普段の様子、アンケート等々アンテナの精度を高め、寄り添いながら指導するようにしています。思春期でもあり、心が大きく揺れ動く



時期です。忙しくないといえませんが、相談事があれば最優先して応じております。何かありましたら億劫がらずに学校へご相談ください。

12 学校は、いじめなどのない学校づくりに取り組んでおり、子供の間違った考え方や行動について、適切に指導している

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
12	22.2	57.9	11.1	2.4	6.3	2.9 ↑ (2.8)

- ・よくわからない。
 - ・これは、分かりません。発信されていない。もし、いじめがあったとしても…。
 - ・「いじめのない」→具体的にどのように取り組んでいるのか分からない。「適切に」→これも何が適切なのか分からない。
- ＊小学校からすると身体は大人に近付く半面、心はまだまだということもあり、心身の成長段階としては一番不安定な時期に当たります。いじめや不登校の問題も大きな課題です。家庭内の状況においてはプライバシーの関係もあり、課題が山積しています。学校では、適宜家庭訪問、面談、校内会議を実施し、外部の機関や民生委員、教育員会等とも連携し、ケース会議等も開催して対応しています。生徒の普段の様子等から、気になることがありましたら、時間をおかず、学校へご相談ください。即時対応します。

11月29日(水)さきがけ新報「いじめの意識」より抜粋
 教員の目の届かないところで起こるいじめは多い。東雲中学校長は「実際にいじめのない集団をつくるのは生徒たち。生徒が主体的に取り組むことに価値がある」と言う。生徒一人一人が自分の問題と意識し、自ら防止に向けた行動を取ることが大切だとあらためて感じた。

13 全校武道や黙想、自問清掃(三本柱)を行うことで、子供の心が磨かれている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
13	37.3	58.7	2.4	0.8	0.8	3.3 ↑ (3.1)

- ・とてもすばらしいです。
- ＊本校には、研修者・視察団・来客者の方々が来校し、いつも三本柱に感動して行かれます。他校の方々も、自校では絶対まねができませんといわれています。全校武道は圧巻だと思っています。平成8年から自問清掃を始めましたが、その時の校長先生が平成9年に次のようにいっています。「3分間でも無言で清掃ができれば褒めてあげてください。…」おそらく、3分間の無言清掃だけでも課題が多かったのだと推察されます。今では75分間の自問清掃をほとんどの生徒ができています。伝統の力だと思っています。崩すのは簡単ですすぐに崩れてしまいます。それでも、生徒会や職員が引き締めてくれています。岩中の伝統を誇りに思いつながっていきたいと思います。生徒会が評価活動を取り入れたりしながら頑張っています。

14 学校は、将来の進路や職業などについて計画的に指導しており、家庭に対しても進路の情報提供を適切に行っている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
14	15.9	60.3	14.3	2.4	7.1	2.8 ↑ (2.7)

- ・1年生だからか進路に関する情報は来ない。
 - ・まだ1年生ということもあり、具体的な話はしていないし、本人もまだピンときていない。
 - ・先輩の進路や職業…、おたよりでは見たことない。
- ＊進路学習は1年生から始まっています。本当は、小学校から始まっています。学校として可能な限り情報提供しているつもりです。知りたいことがあれば、どんどん自分から調べてほしいし、質問があれば、学校でも他に掛け合って調べて情報を提供したいと思います。

15 学校は、自分の生き方をよく考え、豊かな心をもった子供を育てようとしている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
15	19.8	67.5	8.7	2.4	1.6	3.0 ↑ (2.9)

- ・勉強(教科)以外の活動で個人の個性が発揮できる場がある。
- ＊本校の総合的な学習の時間「LIFE」でも、一人一人が自分の課題に向かってよく取り組み、発表会では多彩にプレゼンテーションをしています。今年度は、**12月14日(水)の5～6校時**に行います。これも岩中の目玉の一つになっています。キャリア教育・進路学習の一環です。是非、都合をつけてご覧になってほしいと思います。

16 学校は、命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
16	31.0	61.9	2.4	0.8	4.0	3.2 (3.2)

- ・校長先生はじめ、多くの先生方が一番大切なのは命だと教えてくれる。
- ＊もちろん家庭が最大の基盤ですが、学校としても社会の形成者として必要な資質を養うために努力しています。

17 子供は、生徒会活動に積極的に参加し、自らの手で学校生活を見直し改善しようとしている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
17	20.6	61.1	14.3	0.0	4.0	2.9 ↑ (2.8)

- ・学校祭がとても良かったので…。
- ＊生徒会最大のイベントである岩中祭は、今年度も観客動員数が伸びました。ご理解いただいていると理解しています。新生徒会に対するプレッシャーもどんどん大きくなりますが、そのプレッシャーは生徒が成長するチャンスだと思っています。学校祭は生徒はもちろんですが、職員も一丸となって取り組んでいます。まさしく「チーム意和氣」の祭典になっています。喜んでいただいているようで嬉しく思います。

岩中生の活躍!

本荘由利児童生徒美術展

2日(土)～4日(月)、本荘由利児童生徒美術展が市文化交流館カダーレ(9:00～18:00)で開催されます。本校生徒の出品者は次のとおりです。

【平面作品】

- 齋藤 ** (3) 「絵の中の自分」
- 加賀谷 * (3) 「自画像と好きなモノ」
- 吉田 ** (3) 「私」
- 佐々木 ** (2) 「結～tsunagu～」
- 金森 ** (2) 「いつもの風景」
- 岡野 ** (2) 「水溜まり」
- 佐々木 ** (1) 「馬」
- 佐々木 ** (1) 「巢」
- 臼杵 ** (1) 「猫」

【立体作品】

- 佐々木 ** (2) 「月の裏側」
- 渡部 ** (2) 「さかな」
- 堀井 ** (2) 「えんぴつ」
- 富山 ** (1) 「J H」
- 石山 ** (1) 「桜」
- 阿部 ** (1) 「アゲハ蝶」